

受験生をはじめとした高校生、保護者の皆様へ

文部科学大臣の萩生田光一です。皆様に、令和2年度の大学入試における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送ることをお伝えします。

大学入試における英語民間試験に向けて、今日まで熱心に勉強に取り組んでいる高校生も多いと思います。今回の決定でそうした皆様との約束を果たせなくなってしまったことを、大変申し訳なく思います。

英語民間試験を予定通り実施するかどうかに関しては、高校生をはじめ多くの皆様から、賛成・反対、様々な意見をいただけてきました。

私としては、目標の大学に向けて英語試験の勉強を重ねている高校生の姿を思い浮かべながら、当初の予定通りのスケジュールで試験を実施するために、連日取り組んできました。

しかし、大変残念ですが、英語教育充実のために導入を予定してきた英語民間試験を、経済的な状況や居住している地域にかかわらず、等しく安心して受けられるようにするためには、更なる時間が必要だと判断するに至りました。

大学入試における新たな英語試験については、新学習指導要領が適用される令和6年度に実施する試験から導入することとし、今後一年を目途に検討し、結論を出すこととします。

皆様が安心して、受験に臨むことができる仕組みを構築していくことをお約束します。

今回、文部科学省としてシステムの導入見送りを決めましたが、高校生にとって、読む・聞く・話す・書くといった英語4技能をバランスよく身に付け、伸ばすことが大切なことには変わりありません。

グローバル化が進展する中で、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることは大変重要なことです。皆様には、これからも日々の授業を大切にするとともに、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねて頂きたいと思います。

令和元年11月1日

文部科学大臣 萩生田光一

お知らせ

【重要】「S-CBT」の予約申込をしていただいた皆様へのお知らせ

2019年11月01日

公益財団法人 日本英語検定協会

「英検2020 1 day S-CBT（以下、S-CBT）」 返金 申込受付期間 一旦延期のお知らせ

先般、本日11月1日9時半からの萩生田文部科学大臣の英語民間試験活用の延期発表を受けまして、当初、来週11月5日（火）から11月11日（月）に予定しておりました、「S-CBT」の返金申込受付期間につきましては一旦延期とさせていただきます。

弊会としましては、まずは文部科学省からの英語民間試験活用の延期の経緯と今後の方針等を伺い、詳細を協議させていただきながら返金手続き、ならびに手数料等について決定させていただく必要がございます。

弊会としましては、これまでどおり受験者様一義で対応させていただく所存です。

つきましては、決定次第、速やかにウェブサイトにて公表させていただきますので、どうか本旨をご理解いただき今暫くお待ちいただきますよう謹んでお願い申し上げます。

「S-CBT」に関する英検協会の今後の方針について

「S-CBT」をこれまで予約申込なされた受験者の皆様、その保護者の皆様、高等学校の先生方へ

【はじめに】

先般 11月1日（金）に、萩生田光一文部科学大臣から、来年度より大学入学共通テストに導入される予定であった英語民間試験の活用について延期する旨の発表がありました。英語検定において、その対象であります「英検 2020 1 day S-CBT（以下、S-CBT）」は、既に9月18日から2020年度第1回検定（4月～7月実施分）の予約申込の受付を開始し、これまで検定料の一部金として3,000円を予約申込時にお支払いいただく方式にもかかわらず、都市部から地方に至る全国から多くの皆様にご予約いただいております。その数は、294,534人（11月1日現在）に上り、都道府県別の予約申込者数は以下のとおりです。このたび予約申込いただきました全国の皆様にまずは心より感謝を申し上げます。

「S-CBT」2020年度第1回検定（4月～7月実施分）全国の都道府県別 予約申込者数（人）

No.	都道府県	申込人数	No.	都道府県	申込人数	No.	都道府県	申込人数
1	北海道	5,718	17	石川県	861	33	岡山県	2,372
2	青森県	853	18	福井県	1,341	34	広島県	4,355
3	岩手県	1,626	19	山梨県	2,596	35	山口県	2,962
4	宮城県	2,518	20	長野県	5,396	36	徳島県	1,889
5	秋田県	1,170	21	岐阜県	4,134	37	香川県	2,365
6	山形県	1,699	22	静岡県	9,237	38	愛媛県	3,413
7	福島県	4,174	23	愛知県	18,594	39	高知県	1,929
8	茨城県	8,671	24	三重県	3,365	40	福岡県	15,564
9	栃木県	4,347	25	滋賀県	3,908	41	佐賀県	2,215
10	群馬県	6,500	26	京都府	5,690	42	長崎県	2,868
11	埼玉県	22,272	27	大阪府	16,369	43	熊本県	2,993
12	千葉県	18,459	28	兵庫県	15,738	44	大分県	1,702
13	東京都	40,850	29	奈良県	3,739	45	宮崎県	2,699
14	神奈川県	23,550	30	和歌山県	1,765	46	鹿児島県	3,108
15	新潟県	3,155	31	鳥取県	617	47	沖縄県	2,885
16	富山県	868	32	島根県	1,435		総計	294,534

英検協会としては、今回の萩生田文部科学大臣の発表を受けて、「S-CBT」に予約申込いただいた皆様より頂戴しました検定料の一部金の3,000円をご返金申し上げる意思に相違ございません。しかしながら、英検協会も、延期の事実は、皆様と同様11月1日早朝の報道ならびに文部科学大臣の発表で初めて知るという状況でした。同日夕刻、弊会ウェブサイトに掲載させていただきましたとおり、今後の対応を決定するには、まずは文部科学省から本件に関する詳細を伺い、皆様への返金方法や手数料等につきまして同省と協議させていただく必要があります。協議の上で確定しましたら速やかにご報告させていただきますので、今暫くお待ちいただきますようお願い申し上げます。

【「S-CBT」実施の前提】

英検協会といたしまして、当初より、本件、「大学入試英語成績提供システム」に参加させていただくにあたり、以下のポリシーを定め、そのポリシーの下、「S-CBT」の実施方針を決定いたしました。なお本内容につきましては、すでに過去数回にわたり発表させていただいているものになりますので、ご存知の皆様は、末尾の【**今後の方針**】よりご覧いただければと存じます。

<英検協会のポリシー>

1. 受験者様一義に立ち、できる限り、全国の受験者様（受験上の配慮が必要な皆様含む）に公平な試験実施をおこなうように努力する。
2. 入試に対応し得る、セキュリティの高い試験実施をおこなうため、英検協会として（従来型の）英検で培った経験とノウハウを活かし、全国の受験者様に厳正なる試験をご提供する。
3. 公正性、厳正性を追求する過程で、CBT方式の試験の優位性を考慮し、「大学入試英語成績提供システム」を介する試験についてはCBT方式の試験を中心に据える。
4. 高等学校（またその先生方）に責任やご負担をお掛けしないようにする。
5. 確定した内容は、受験者様一義に立ち速やかにご公表する。

※詳細につきましては、以下をご参照願います。

[【プレスリリース】2020年度、「英検 2020 1 day S-CBT」の実施概要のお知らせ](#)（2019年7月2日）

[【プレスリリース】2020年度「英検 2020 2 days S-Interview」の実施についての英検協会の考え方](#)（2019年6月26日）

上記ポリシーに基づき「S-CBT」の実施方針を決定いたしました。以下をご参照願います。

<「S-CBT」の実施方針>

1. 受験者様にできる限り柔軟な受験機会をご提供できるよう、常時実施をめざす。
2. 高等学校を試験会場とせず、当然、その高校の受験者様が自校で受験できることもないよう、高いセキュリティレベルにある試験会場（「テストセンター」）をEduLabグループの株式会社教育測定研究所様にご尽力いただき設置し、英検協会の責任の下、受験者様にはその高いセキュリティレベルのテストセンターで受験いただくこととする。
3. 受験者様の居住地による地域格差の不正さをできる限りなくし、地方と都市部と分け隔てなく全国の都道府県で少なくとも一箇所以上のテストセンターを設置する。（全国186エリア・約260のテストセンター設置予定）
4. できる限りご希望いただいた皆様に受験いただけるよう、「S-CBT」については本申込前に予約申込期間を設け、予約申込いただいた皆様の情報をもとに、来年4月の開始までに全国にテストセンターを設置し、実施に関わる人員確保、ならびに教育等をおこなうこととする。
5. 十分な余剰を確保するため、予約申込なされた皆様の情報をもとに、都道府県単位で予約申込者数の2割増のキャパシティを目安に座席数確保に努める。
6. 以上のとおり、全国規模で高いセキュリティレベルのテストセンターを設置するためには、会場確保にかかる費用が発生し、また予約申込後にキャンセルを受け付けると、実際に受験いただく実受験者数が読めず、その結果、非効率な会場設置も考えられ、場合によっては費用高による検定料の値上にも繋がりがかねない。そのため、「S-CBT」については、予約申込時に検定料の一部金である3,000円をお支払いいただくこととし返金には応じないこととする。
（当初案。しかしながら他の試験団体の実施概要が長いこと発表されず、ようやく10月末日までには発表するということがあったため、急遽、その他団体の発表により、すでに「S-CBT」に予約申込された方が他の試験を受験した

いというご希望が出てくるかもしれないので、こうしたご希望者に対して返金させていただくことを10月7日に発表する。)

7. 対象受験者様、保護者様、高等学校の先生方のお立場を鑑み、上記内容を含めた実施概要を確定後速やかに公表する。実際には、夏季休暇前（7月2日）でのリリース。
8. 上記の通り、「S-CBT」は予約申しいただき、しかも検定料の一部金である3,000円を予約申込時に頂戴するため、公表後、逐次、その事実を広報し、予約申込が開始される9月中旬まで十分にご検討いただくことを促し、3,000円をお支払しても「S-CBT」を受験したいとご希望なさる方にのみ受験いただくよう、協会の趣旨をしっかりと周知させていただくこととする。

※詳細につきましては、これまでのプレスリリース、ならびに「S-CBT」の特設サイトをご参照願います。

[「英検2020 1 day S-CBT」第1回検定予約申込に関するお知らせ](#)（2019年10月7日）

[「プレスリリース」2020年度、「英検2020 1 day S-CBT」の実施概要のお知らせ](#)（2019年7月2日）

[「プレスリリース」2020年度 英検新方式 実施会場における決定事項のお知らせ](#)（2019年5月14日）

「S-CBT」サイト (<https://www.eiken.or.jp/s-cbt/>)

上記「S-CBT」の実施方針のもと、確定した内容は随時速やかに公表し、10月31日の延期が発表される前日にも最新情報をウェブサイト上にご案内させていただきました。その最新情報につきましても、以下、記載させていただきます。

<10月31日（木）「S-CBT」に関する最新情報>

1. 試験日は、原則、毎週土曜、日曜日に実施します。
2. 一部会場は平日も実施できるよう、ただいいま鋭意進めています。
3. 入試に対応し得る、高いセキュリティレベルの「テストセンター」の詳細をお知らせします。

◎ 厳正な実施体制（不正行為防止等）の構築

- ・受付で受験者の入室および本人確認の管理
- ・私物の管理（ロッカー、またはクリアバッグ等の使用）
- ・監視カメラの設置（一部会場）
- ・パーテーションの設置（不正行為防止）
- ・試験用の環境整備（掲示物等、試験に関係し得る情報の排除）

◎ 受験に適した試験会場の構築

- ・パーテーションの設置（隣席を気にせず試験に集中できる環境）
- ・特注のヘッドセットを全国共通で使用（長時間装着しても違和感なし）
- ・クッション性の高い椅子の使用（長時間での疲労を軽減）
- ・室温管理の徹底（常に快適に試験を受けていただけるよう温度設定等の管理）

※会場によっては一部設備が異なる場合もございます。

※詳細につきましては、「S-CBT」サイト (<https://www.eiken.or.jp/s-cbt/>) をご参照願います。

（結論）【今後の方針】

以上のとおり、「S-CBT」におきましては、少なくとも現時点で予約いただいております、約 30 万人の皆様が、来年度 4 月から入試に対応し得る、高いセキュリティレベルの全国のテストセンターで受験いただける状況でございます。さらに試験日は、原則、毎週土、日曜日で、一部の会場は平日でも受験いただけるよう鋭意進めている状況でした。

一方、外部環境に目を向けますと、今回、英語民間試験の導入は延期となりましたが、来年 2020 年度はいよいよ東京オリンピックの年でもあり、これまで以上に我が国でグローバル化の意識が高まり、英語 4 技能の重要性について益々問われる機会が増えてくることかと存じます。さらに今後一層加速していく教育 ICT 化の流れの中で、厳正な試験実施がおこなえる、コンピューターを使用した CBT 方式での受験機会は益々増えてくるものと思われま

す。こうした状況におきまして、「S-CBT」は、従来型の英検と実施方式の違いはありますが、問題形式や難易度、級認定、合格証明書発行、CSE スコア取得等はすべて同じです。従来型の英検と比較した「S-CBT」の利点は、先述のとおり、一日で 4 技能すべての試験ができること、また従来型の英検は年 3 回の実施回数に対し、「S-CBT」は原則、毎週、土、日曜日で実施し、かつ高いセキュリティレベルにある全国のテストセンターで実施をおこなうこと。また ICT リテラシーに自信のない方にとってライティングでのタイピングは困難な面もありますが、「S-CBT」は、同じ CBT 方式の「英検 CBT」とは異なり、ライティングの解答はパソコン入力ではなく手書きでおこないますので、こうした皆様にもご安心して受験いただける試験であることです。

このたびの延期発表を受けて、2020 年度の入試における国公立大学様の動向は現時点では分かりかねますが、現在、大学入試において、国公立、私立含む全国の英語民間試験を活用している大学の 9 割以上^{※1}が英検を採用しており、そのうち大学入試英語成績提供システムを介さない入試においては、来年度以降も引き続き、従来型の英検だけでなく、「英検 CBT」や今回の「S-CBT」の試験結果も利用することが可能です。延期発表後にまずは私立大学様から状況を確認しはじめていますところではありますが、どの学校様からも変更なしとの回答を頂戴しております。英検協会としましては、今後も英検を入試に採用するとご公表いただいている全国の大学様に確認をとってまいります。

※1 旺文社 教育情報センター（2019 年 2 月 1 日発表）

以上のように、「S-CBT」は入試に対応しうるセキュアな試験として、2020 年度から皆様にご活用いただける準備が整っており、なおかつ、私立大学の多くの大学様で 2020 年度から入試でご活用いただける状況にあります。

このたび、「S-CBT」の予約申込をしていただきました全国の約 30 万人の皆様におかれましては、少しでもよい成績が取れるよう一生懸命努力を重ね、来年度 4 月からの開始に備え、「S-CBT」の試験準備をされてきたことと推察いたします。こうした皆様の中には、このたびの延期の発表で、「S-CBT」の試験はどうなってしまうのか、このまま中止となり、これまで試験準備をしてきた時間が無駄になってしまわないか、とお困りの方もいらっしゃるかもしれません。そうした思いを抱かれる方が一人でもいらっしゃるようであれば英検協会として看過することはできません。

公益財団法人として定款に掲げる英語力向上のきっかけとして「S-CBT」をご活用いただきたいという思いから、このたび「S-CBT」の設計を見直し、文部科学省と協議の上、できる限り早い段階でその内容を公表させていただき、予約申込いただいた皆様の中で、返金せずにそのまま受験したいと思われる方には、ご救済させていただく為の策を講じさせていただき、これまでどおり、来年度 2020 年度 4 月から受験いただくようにさせていただきたく存じます。

最後になりましたが改めまして、返金をご希望の皆様には、文科省と協議し、その方法や申込期間等の詳細が決まり次第速やかに公表させていただきますことをお伝えさせていただきます。

いずれにしても、今暫くお待ちいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上